

令和4年度

第3回豊島区在宅医療連携推進会議

令和5年2月2日(木) 午後7時30分～
オンライン会議

〈次 第〉

- 1 開会

- 2 議事
 - (1) 各部会の報告
 - (2) 在宅医療相談窓口の実績報告について
 - (3) 歯科相談窓口の実績報告について
 - (4) 在宅医療コーディネーター研修の実施報告について
 - (5) その他

【配付資料】

資料1	ICT 部会報告資料
資料2	口腔・嚥下障害部会報告資料
資料3	在宅服薬支援部会報告資料
資料4	訪問看護ステーション部会報告資料
資料5	リハビリテーション部会報告資料
資料6	感染症対策部会報告資料
資料7	豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点実績報告書
資料8	豊島区歯科相談窓口実績報告書
資料9	豊島区在宅医療コーディネーター養成講座上級編実施報告
参考資料1	在宅医療相談窓口相談事例
参考資料2	歯科相談窓口相談事例

令和4年度第 3 回 豊島区在宅医療連携推進会議 ICT 部会報告

I. 報告事項

- (1) 豊島区医師会多職種連携ネットワーク(表1)
- (2) MCS-ビデオ通話機能等を用いたオンライン診療及びオンラインカンファレンスについて(図1)
 - ・D to P with N にて実施
 - ・診療報酬の算定も可能
- (3) 第 31 回日本医学総会2023東京における「豊島区の取り組み」の報告について
 - ・日本医学総会博覧会の「コミュニティクリニック__地域包括ケアシステムと ICT」のブースにて各地区の取り組みを動画で放映する予定
 - ・その一つとして「豊島区における地域包括ケアシステムと ICT の取り組み」も放映予定

II. 今年度計画

- (1) 豊島区医師会多職種連携ネットワークの再周知
- (2) WEB 会議システムとの連動
 - ・オンラインカンファレンス
- (3) ACP ノートの普及
- (4) バイタルデータ共有システムとの連動
- (5) 病診連携の推進
- (6) 在宅医療におけるオンライン診療についての検討

文責:土屋淳郎

表1 豊島区における MCS 利用状況(月別統計)

月別統計					
ユーザ総数 (先月末)	投稿総数 (先月末)	患者総数 (先月末)			
すべて	すべて	患者グループ総数			
2063 (2054)	708668 (702490)	3643 (3602)			
医療介護職	医療介護職	本人未参加			
1626 (1621)	684485 (679267)	3412 (3374)			
一般	一般	本人参加済			
437 (433)	24183 (23223)	231 (228)			
施設総数 (先月末)	自由グループ総数 (先月末)				
医療介護関連施設	自由グループ				
765 (762)	861 (857)				
	ユーザ数	投稿数	患者数	施設数	自由グ
2023/01	14	6178	45	2	
2022/12	23	11840	69	9	
2022/11	26	10036	87	6	
2022/10	19	10293	83	3	
2022/09	19	10212	77	6	
2022/08	15	11129	111	1	
2022/07	34	10557	75	7	
2022/06	21	9882	90	2	
2022/05	36	9244	89	5	
2022/04	33	9432	100	3	

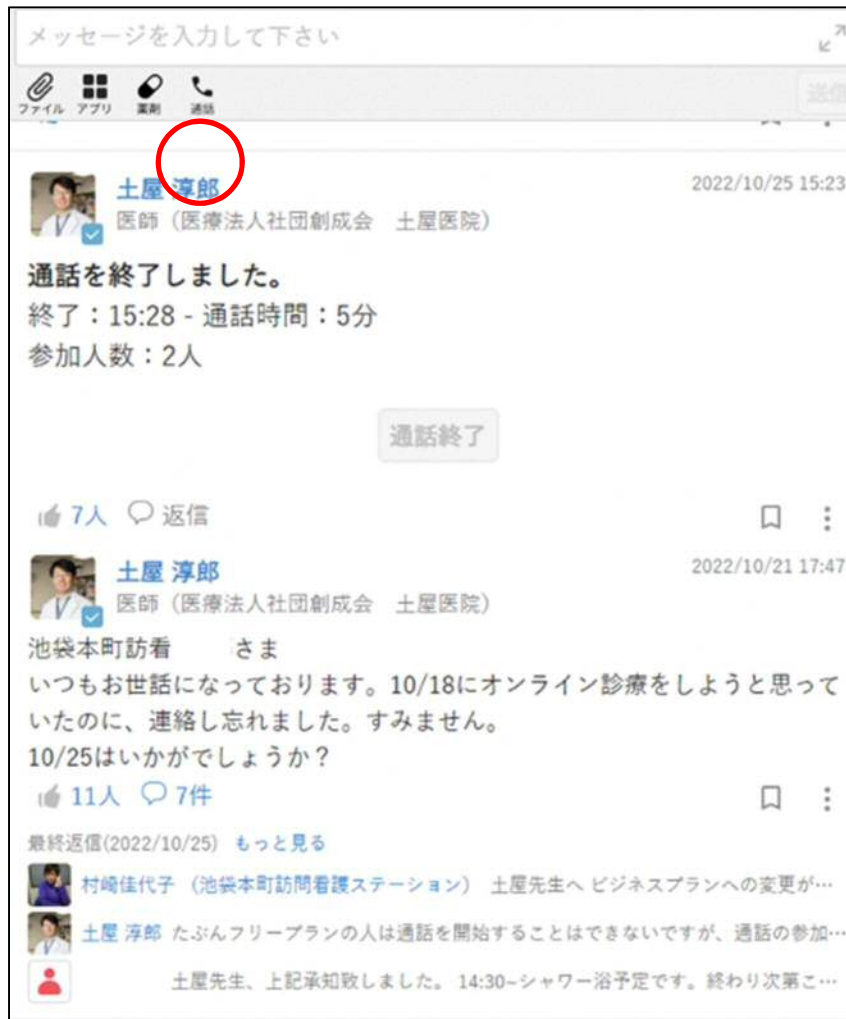


図 1 - ① MCS-ビデオ通話機能等を用いたオンライン診療(タイムライン画面)

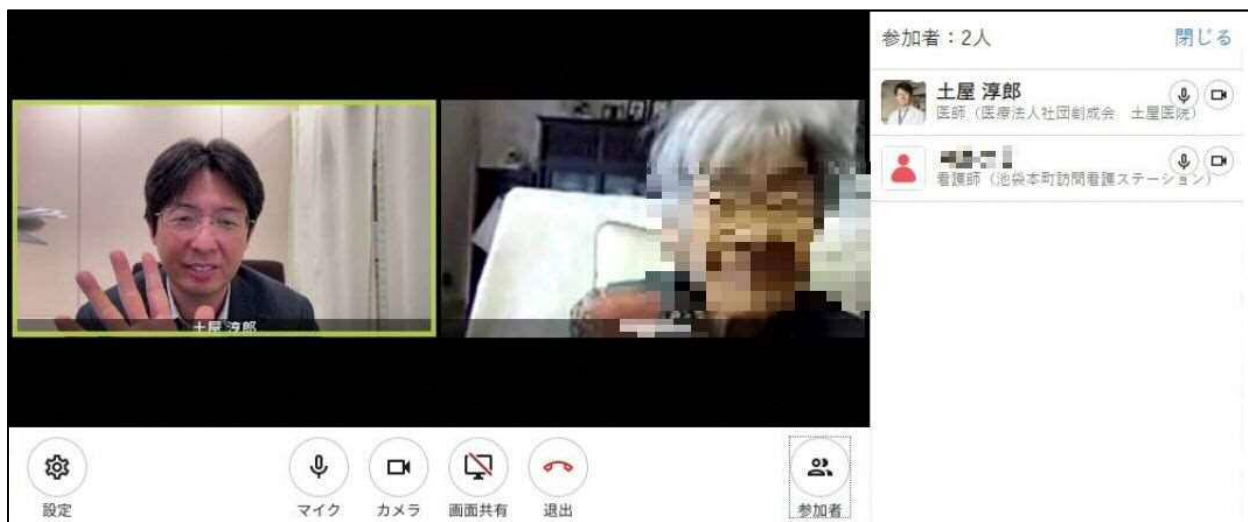


図 1 - ② MCS-ビデオ通話機能等を用いたオンライン診療(ビデオ通話機能画面)

令和 4 年度

在宅医療連携推進会議
口腔・嚥下障害部会

令和 4 年度 口腔・嚥下障害者への取り組み報告

◎特養ホーム「山吹の里」、「シオンとしま」においてミールラウンド・摂食指導を実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
山吹	7名	11名	11名	10名	中止	8名	7名	8名	1名
シオンとしま	4名	0名	2名	4名	1名	3名	4名	1名	

◎障害者福祉施設「茜の里」への訪問歯科診療、摂食嚥下機能評価を隔週（毎月第1、3木曜日）で実施

◎発達期障害児を対象とした摂食嚥下機能訓練外来（毎月第3火曜日）を実施

◎「西部子ども家庭支援センター」への出張摂食嚥下外来の実施

9/27 西部子ども家庭支援センター出張指導

講演：「食べる力は子どもの「発達力」と「生きる力」の原動力」

参加者 21 名

摂食個別指導：3 名

◎在宅療養者への管理栄養士との協働での訪問栄養指導の実施

T. I 様 102 歳 永眠 認知症 脳出血後後遺症 高血圧
ペースト食を息子さんがアレンジして作っているが、たんぱく質量を増やしたい。

A. N 様 91 歳 高血圧 認知症 脳梗塞 左麻痺
食形態の維持と体重維持。

H. T 様 69歳 アルコール依存症 認知症 廃用症候群

口腔内環境を整備後、食事形態アップと摂取カロリーアップを目指して介入を試みたがアルコール依存症と認知症の悪化で入院となり、繋がらなかった。

◎口腔機能向上・予防事業報告

健口キャラバン（出前型口腔講座）の実施

実施日時	場所	参加人数
5月26日 14:00～	区民ひろば椎名町	15名
6月1日 13:30～	区民ひろば仰高	15名
6月9日 11:00～	区民ひろば富士見台	12名
6月30日 10:30～	区民ひろば要町	15名
2月8日 14:00～	区民ひろば朝日	名

高齢者歯科健診後の口腔機能低下重症化予防事業への協力

実施日時	場所	参加人数
1月11日 14:00～	区民ひろば清和第一	8名
1月25日 14:00～	区民ひろば千早	名
2月9日 10:00～	区民ひろば上池袋	名
3月8日 13:30～	東池袋フレイル対策センター	名
3月22日 14:00～	区民ひろば清和第一	名

	日付	相談者	相談内容	回答内容
1	12月7日	薬局	ディレグラ配合錠はドーピングに該当すると思うがどうか。鼻閉改善目的で使用。使用可能な医薬品は何か。	「薬剤師のためのアンチドーピングガイドブック2022年版」より回答。ディレグラ配合錠はドーピング該当。オロパタジン、モンテルカストは可と伝えた。
3	12月11日	一般	土日になると体調が悪くなる。①胃が悪く、受診。ツムラ麦門冬湯と半夏瀉心湯が処方された。咳は出ないがどうしたらよいか。②先月もらったプリンペラン服用にて胃の不具合は改善したが、認知症になる知人に聞いた。どうなのか。③東京都立大塚病院で胃の検査をした。かかりつけ医に情報が戻るのか、かかりつけ医からの説明を希望したが都立大塚の医師に聞くように言われた。どうすればよいか。	①成分は生薬なので、薬情などに記載以外の症状にも使用される。②薬剤師としてそういう情報は持っていない。③かかりつけ医の受付の人に話を通してもらうように伝えた。
4	12月13日	男性	コロナ抗原検査キットは取り扱っているか。	取り扱っていると回答。
5	12月13日	一般	12/10休日診療所受診。コロナ陽性。3日分のみきつたが、症状よくなり。どうすればよいか。	次回の休日診療所の診察日は12/17のため、近隣のクリニックに連絡して指示を仰ぐように伝えた。
6	12月14日	薬局	昨日散薬を調剤したが、今日になりシロップに変更してほしいと言われた。どうすればよいか。	昨日の時点で調剤が完了しているため、再受診が必要と回答。
8	12月16日	訪問介護ステーション	PPEセットを10セット程もらいたい。従業員が用いる。	現在は、従業員が用いるのなら有償になると回答。今回はキャンセルとなった。
9	12月17日	外国人男性来局	東京都の無料PCR検査にて陽性判定がでた。どうすればよいか。	実施センターに問い合わせし、①症状あり→受診②症状なし→自宅療養と回答。
10	12月25日	男性	コロナ抗原検査キットは取り扱っているか。	取り扱っていると回答。
11	12月26日	女性	年末年始の休日診療所にて①コロナ検査の実施について②子供がインフルエンザに罹患した場合、タミフルDSが処方されるかについて知りたい。	①コロナ・インフルエンザの同時検査が実施される②医師が必要と判断すれば処方されると回答。
12	12月27日	診療機関	12/29～1/3にオンライン診療を行う。そのオンライン調剤を依頼したい。当初対応をお願いしていた薬局が年末年始閉局するのを昨日初めて知り、慌てて探している。	可と回答。
13	12月30日	訪問診療所	ラスビック(粉碎)を処方したいが、施設に届けてもらえるか。	処方箋応需は可能だが、コロナではない場合は届けはできない。後ほど施設の従業員が取りに来た。
14	12月30日	不明	コロナに感染後、自宅療養期間が終了したが扁桃腺が腫れて耳が痛い。OTCで良いものはないか。	トラネキサム酸含有のOTCが良いと回答。
15	12月30日	歯科	クリンダマイシンでアレルギー歴がある場合、ペニシリン系の抗菌薬は用いてよいか。	系統が異なるので問題ないと思われると回答。
16	12月31日	未記載	インフルエンザの検査キットは取り扱っているか。	コロナと同時に検査できるキットを取り扱っていると回答。
17	12月31日	訪問診療所	ラゲブリオの届けは可能か。PCR検査結果の判明が明日のため、明日再度相談する。	16時以降なら可と回答。

	日付	相談者	相談内容	回答内容
18	12月31日	女性	子供がコロナに罹患し、6日間自宅療養中。夫が今日から発熱。気胸などの疾患があり、ひどくなると心配。診てもらいたいが、今日開院している病院を教えてください。	休日診療所および診療可能な医療機関を紹介。
19	12月3日	男性	処方してもらいたい。	休日診療所を紹介。
1	11月1日	薬局	あうる薬局の患者でなくても使用済み注射針の回収は行っているか。	行っていると回答。
2	11月3日	男性	水虫に使用する市販薬を購入したい。	ドラッグストアを紹介。
3	11月4日	男性	コンサータ錠、ビバンセカプセルの取り扱いが可能か。	ADHD適正使用流通システム手続き済のため、対応可能と回答。
4	11月7日	薬局	コロナ抗原検査キットにて陰性がでたら、販売薬局で陰性証明書を発行することができるか。旅行割申請目的。	ただいま東京プラスおよび東京都福祉保健局に確認。必要事項7項目を満たしていれば発行できるが、それが証明の効力を発揮するかは宿泊施設ごとによって異なる。確実なのは、厚生労働省のHPIに掲載されているセンターやクリニックなどの施設で発行してもらうことだと説明。
5	11月7日	男性外国人薬局	コロナワクチン1回目接種希望だが、接種券をもっていない。どうすればよいか。	保健所ワクチン課に問い合わせ。池袋保健所での集団接種だと、11月は24(木)25(金)。接種券がない場合は、予約が必要。コールセンターの電話番号を伝えた。
6	11月14日	薬局	ホテル療養患者への届け依頼が来た。ホテル場所は距離があるため、届けるとなると業務に支障がでる。	以前、あうる薬局にて同じような経験をした。その時は、近隣の薬局ならホテルスタッフが受け取りに行くことができるのとこのことで近隣薬局を紹介した。ホテルでは、スタッフが薬局に取りに行くのが原則とも伝えた。→この後、相談者に経過を聴くと今回はホテルおよび患者の同意のもと、宅配業者を利用したとのことだった。
7	11月15日	医療機関	板橋区在住のコロナ自宅療養患者への届けを引き受けられる薬局を探すことは可能か。	可能と回答。
9	11月17日	一般	今日、循環器科の処方薬がでた。11/30に入院して、翌日手術する。医師の指示でパファリン配合錠A81を1週間術前休薬することになっている。その分を一包化しないことは可能か。明日、来局する。	可能と回答。
10	11月22日	男性	コロナ抗原検査キットを販売しているか。	販売していると回答。
13	11月25日	介護施設	従業員使用目的で、ガウン30着およびフェイスシールド30個を至急入手したい。アスクルだと入手が週明け28日になってしまうため。	従業員使用目的のため、有償で譲渡。
14	11月26日	一般	風邪っぽいので、1年前にもらったデキストロメトルファン錠を服用してよいか。	咳がでるようなら可。それでもよくなるのなら、受診を勧めた。
1	10月1日	一般	耳鼻咽喉科にて、他の耳鼻科に行くように言われて、病院の耳鼻科で診てもらった。診断名は後発性難聴。宇宙飛行士がよくなる病気。ピレチア細粒(賦形が必要となるほど少量)1~2hごとの服用、1日10回までの服用可との指示あり。9/26に受診したが、まだのんでいない。副作用はどのようなものがあるか。	主に眠気だが、少量なので可能性は低いと回答。
2	10月5日	一般	副作用が怖くて、ピレチア細粒をまだのんでいない。1回分は耳かき2杯分ほどだが。耳の調子は今もよくない。	試してみないとわからない点もあるため、1度服用してみてもどうか。試してみないと始まりませんと話した。
4	10月9日	患児の母	子供のシロップをこぼしてしまい、その分が再度ほしい。もらえるか。	処方箋が必要。休日診療所の受診を勧めた。

	日付	相談者	相談内容	回答内容
5	10月10日	記載なし	他薬局でもらっている薬のみあわせについて。セルベックスとアテレックは一緒にのんでよいか。	可と回答。
6	10月15日	一般	耳鼻咽喉科に「通気」のため、通院中。その医師にピレチアを服用すると血圧が上昇すると言われた。耳かき2杯分の1/3程を服用すると耳が苦しいのはよくなり、血圧は高くなっていない。このまま続けて大丈夫か。	ピレチアの副作用には、「血圧上昇」という記載が確かにあるが、自分が服用してどうなったかが重要。今回の状況を考えてみると、メリットのみが現れている。そのため、服用をつづけてよいと思われると回答。
7	10月15日	診療機関	5歳児のミヤBM細粒の1日量はどのくらいか。	湘南鎌倉病院の資料より、1.0～1.2g/日と回答。
10	10月17日	カフティーポンプ 利用予定の男性	訪問医療センターから使用料の案内が来た。3割負担で18,750円だった。豊島区薬剤師会のホームページでは5,500円/月とあり、その3倍以上。高すぎないか。	5,500円/月というのは、医療機関へのレンタル料。左記の内訳はおそらく「在宅中心静脈栄養法指導管理料3,000点、在宅中心静脈栄養法用輸液セット加算2,000点および注入ポンプ加算1,250点の3割負担だと思われる」と回答。
11	10月20日	薬局	いつも向精神薬処方箋をもってくる患者がいる。グループ内で不確定な情報だが、他のクリニックの利用で過剰にもらっている可能性がでてきた。どうすればよいか。	不確定要素が多い印象なので、①社内のエリアマネージャーの指示を仰ぐ②保険者に確認するのがよいと回答。
13	10月25日	女性来局	豊島区在住。京都旅行の際に旅行割を使いたい。しかしワクチンを3回接種していないため、陰性証明がほしい。どこのPCR検査センターに行けばよいか。	池袋西口のPCR検査センター（都民無料）を紹介。有効期限は検体採取日を含め4日間。しかし結果は翌々日の20時までに判明。そのため、実際の有効期間は最短1日になるかもしれないと回答。
1	9月1日	医療機関	アラミスト点鼻液は小児に使ってよいか。	添付文書より、2歳以上の小児なら使用可と回答。
4	9月10日	一般	以前もらったランックス錠10mgの刻印を教えてほしい。服用していて、トイレに行く回数が増えて大変。	要望通り回答。トイレの件に関して、大変である気持ちは理解できるが自己判断での調節はしないように伝えた。
5	9月10日	一般	涙が常時出て、眼はいつも「水浸し」。治す薬はないか。今まで大きな病院で診てもらったが、一向に改善しない。胃がんを患った時に服用した薬の副作用かもしれない。	S-1による流涙の副作用が考えられる。流涙症治療薬のラクリミン点眼薬は存在するが、まずはよく話を聴いてもらえる眼科クリニックを探して相談の方がよいと回答。

貸出状況 カフティーポンプ 9月4台、10月4台、11月3台、12月5台

キャドレガシー 9月2台、10月2台、11月2台、12月2台

コロナ感染自宅療養者への薬の対応 池袋あうる薬局で対応
9月1件、10月0件、11月1件、12月2件

近隣薬局への依頼
9月11件、10月2件、11月10件、12月5件

令和 4 年度第 3 回在宅医療連携推進会議 訪問看護ステーション部会報告

部会開催：令和 4 年 1 2 月 1 2 日（月）18：30～19：30

【訪問看護ステーション部会構成の確認】**【訪訪問看護体験研修について】**

目的：看看連携の強化。訪問看護に興味を持ってもらう。

報酬：体験研修の受け入れ側の報酬はなし。体験者は保険に加入。

実施期間：令和 5 年 1 月～3 月

（今年度の新たな取り組み）

① アンケート用紙の見直し：これまでのデータが翌年に活かせてない

② 体験研修内容の見直し：継続医療につなげる⇒相互理解

訪問看護を理解もらう。→病棟の看護師は訪問看護を理解していない（例年）

訪問看護は病院に何を求めているか？→病院はどのような情報をどのタイミングで欲しい
と
思っているか、体験研修を通じて意見交換が出来るようにしていく。

【勉強会について】

医師会多職種連携全体会と共催

テーマ：臨床倫理実践編

内容：

- ① 山田先生から臨床倫理検討についてのミニレクチャー。
- ② 模擬事例で多職種による臨床倫理検討。可能であれば、その職種の方に参加していただく。
- ③ 会場参加者を 15 名ほど募り、会場参加の方には模擬事例検討を見てグループワーク実施後、意見交換。

講師：東京都保健医療公社豊島病院緩和ケア内科 山田陽介先生

日時：3 月 31 日（金）19 時 30 分～21 時

場所：医師会講堂

方法：ハイブリッド

【豊島区内のステーションで働く認定・専門看護師の実態把握を行う】

今後、認定・専門看護師による勉強会を行い豊島区内のステーションで働く看護師のスキルアップを図る

令和4年度 豊島区訪問看護ステーション体験研修 参加病院と受け入れステーション
 (研修実施期間：令和5年1月4日～3月31日)

No.	性別	住所(勤務先)	受け入れ先 ST
1	女	都立大塚病院	セコムとしま訪問看護ステーション 03-3947-5750
2	女		同上
3	女	医療法人社団 愛語会 要町病院	かのん訪問看護ステーション とも 03-6908-2290
4	女	国立国際医療研究センター病院	池袋西部ナースステーション 03-5926-8080
5	女		訪問看護ステーション ホームケア 目白 03-6908-2915
6	男		要訪問看護ステーション 03-6905-9701
7	女	順天堂大学医学部附属 順天堂病院	アットイーズ訪問看護リハビリステ ーション上池袋 03-5972-1495
8	男	日本医科大学附属病院	葵の空在宅看護センター 03-6905-9582
9	女	都立駒込病院	南池袋訪問看護ステーション 03-3989-0372
10	女		ナースステーション東京 池袋支店 03-5926-9415
11	女	東京都立 豊島病院	コモド訪問看護ステーション 03-5972-1110
12	女		訪問看護リハビリステーション 03- 6905-8960

以上 12 名

令和 4 年度 第 3 回 在宅医療連携推進会議

リハビリテーション部会報告

<活動報告>

1.第 2 回事業所紹介

日 時：令和 5 年 3 月頃

開催形式：ZOOM

目 的：豊島区の在宅医療連携の為のリハ関連施設紹介

実施内容：前回同様 1 事業所約 5 分間の持ち時間の中で、パワーポイント等を使用し紹介予定。

- ・ 第 1 回開催時のアンケートから、1 日の流れを加える・ZOOM の為顔が見え難い等ご意見を参考に共通事項等を改善予定。
- ・ 第 2 回で紹介予定の長汐病院・豊島区立心身障害者福祉センター・老健安寿の 3 ヲ所では少ない為、MCS で周知をして紹介希望の事業所を募集予定。

2.広報誌の作成について

第 1 回の広報誌は作成済最終確認後、豊島区内の在宅医療関連施設へ FAX や MCS を使用し送付予定。

3.体験研修

現在、受け入れ可能な事業所は 4 施設となっています。

(要町病院・ゆみのハートクリニック・東電さわやかケアポートとしま・老健安寿)
但し、コロナウイルスやノロウイルス他感染症等の状況により中止となる場合もある。

以 上

令和 4 年度 第 3 回在宅医療連携推進会議 感染症対策部会報告

I 部会メンバー

医師 3 名、歯科医師 1 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、理学療法士 1 名、
社会福祉士 3 名、介護支援専門員 1 名

II 報告事項（事例）

・ 2022/12/19 【情報共有・報告】

(12/19AM)区内特養施設長より

クラスターが発生したようで、TIT に対して看護職の派遣依頼の相談あり。その後、看護師複数名体制で調整ができたとのことで、依頼は取り下げ。

こちらからは、東京都の「高齢施設へ応援・代替職員派遣の事業」の情報提供と、必要に応じて感染対策チームによる緊急ミーティングの提案を行った。

・ 2022/12/22 【相談】

高齢者施設より、コロナで療養中の職員の職場復帰の判断についての相談。

・ その他

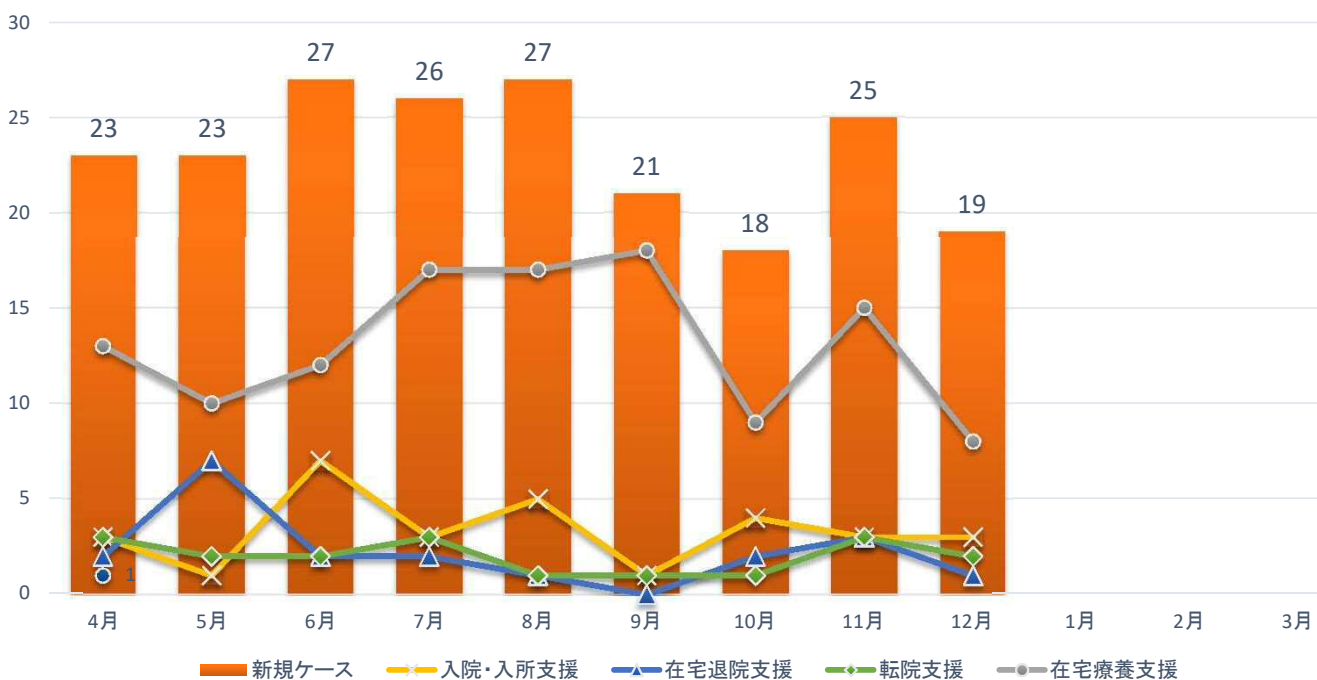
ワクチン接種に関する相談など。

令和4年度 豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点 実績報告書

1. 相談支援ケース

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	ケース数		23	23	27	26	27	21	18	25	19				209
相談内容	在宅療養相談	在宅療養支援	13	10	12	17	17	18	9	15	8				119
		入院・入所支援	3	1	7	3	5	1	4	3	3				30
	うち後方支援病床確保事業		3	1	3	1	2	1	3	2	2				18
	退院相談	在宅退院支援	2	7	2	2	1	0	2	3	1				20
		転院支援	3	2	2	3	1	1	1	3	2				18
	その他		2	3	4	1	3	1	2	1	5				22
依頼者	本人	4	0	2	3	2	2	2	2	1	3				19
	家族	5	7	7	6	6	10	5	9	5					60
	医師	1	3	0	0	1	0	0	1	0					6
	医療ソーシャルワーカー	4	2	2	1	6	5	5	4	1					30
	看護師	0	0	3	3	2	0	1	0	1					10
	ケアマネジャー	2	2	6	4	4	2	3	1	2					26
	地域包括支援センター	2	3	4	4	2	1	0	4	1					21
	コミュニティソーシャルワーカー	1	2	0	2	2	0	0	0	1					8
	行政	1	2	0	1	2	1	0	3	1					11
	その他	3	2	3	2	0	0	2	2	4					18
業務方法	電話	105	123	142	132	147	102	123	106	72					1052
	訪問(外出)	4	10	5	8	7	1	19	6	1					61
	館内	3	7	7	0	9	0	5	3	3					37
	来所	5	8	3	2	8	4	3	6	0					39
	郵便・FAX	1	9	8	5	2	5	2	4	4					40
	メール	0	3	0	0	0	0	0	3	0					6
	SNS(MCSなど)	22	31	11	8	4	0	3	8	10					97
	合計(延べ数)	140	191	176	155	177	112	155	136	90	0	0	0		1332

相談支援件数



豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点 実績報告書（令和4年9月～12月分）

2. 普及啓発・情報収集活動(訪問・来所機関)

病院	区内	3	居宅・包括	3
	区外	4	介護関係事業所	6
診療所	区内	2	行政・社協	5
	区外	3	他地域 (医師会・行政・窓口)	6
歯科・薬局		1	その他	6
訪問看護		3		

東京都医療的ケア児支援センター
 豊島区ひきこもり相談窓口
 【他地域(医師会・行政・窓口)】
 台東区役所健康部健康課
 武蔵野市在宅医療介護連携支援室
 蒲田医師会在宅医療相談窓口

3. 会議・研修 等

会議・打合せ

豊島区在宅医療連携推進会議、豊島区医療的ケア児等支援協議会、豊島区リハビリテーション部会
 豊島区地域包括(医療職部会)、地域ケア会議(医師会包括)、打ち合わせ(医師会包括)、休日診療所出勤者連絡会

医療介護連携 関連

○豊島区地域医療・介護ネットワーク構築事業

・包括圏域ごとの多職種連携の会

日にち	圏域		開催方法/会場	内容(テーマなど)
9/27	いけよん	会員向け勉強会	WEB	いけよん地域の防災について
9/29	全体	講演会	WEB/4階講堂	コロナが遺したもの
10/24	中央	多職種連携の会	WEB	「認知症のアレコレ・こんな時」GW
11/17・18	東部	区民向けイベント	区民ひろば	高齢者の安心な暮らしを支えます
11/28	西部	多職種連携の会	WEB/4階講堂	災害支援 グループワーク
11/29	アトリエ	多職種連携の会	WEB	お金のこと(生活保護・CSW事業)
12/3	いけよん	区民向け勉強会	WEB/会場	災害時の自助
12/6	全体	講演会	WEB	としま在宅医療フォーラム

○その他、全体・医療機関主催 等

日にち	会議・研修名 / 内容(テーマなど)	参加者	開催方法/会場
11/2	日大板橋病院 医療連携講演会	中辻	リーガロイヤルホテル

研修会・セミナー

日にち	会議・研修名 / 内容(テーマなど)	参加者	開催方法/会場
9/30	東京都医療ソーシャルワーカー協会第3ブロック研修	中辻・加藤	WEB
10/20	豊島区医師会 医療的ケア児講演会	中辻	WEB
11/23	在宅医療フォーラム	中辻	WEB
12/10	東京都医療ソーシャルワーカー協会 公開講座	中辻	WEB

学術集会・講演 等

日にち	会議・研修名 / 内容(テーマなど)	担当	開催方法/会場
9/29	としま在宅病診連携講演会	中辻	4階講堂/WEB
	講演 豊島区における自宅療養者医療支援の取り組みと事例		

その他

日にち	会議・研修名 / 内容(テーマなど)	担当	開催方法/会場
4/1～	令和4年度 東京都入退院時連携強化研修委員会	委員:中辻	WEB
9/27	東京都入退院時連携強化研修B日程	ファシリ:中辻	WEB
10/21・27	東京都入退院時連携強化研修C日程	ファシリ:中辻	WEB
11/30	退院支援人材育成研修	ファシリ:中辻	AP西新宿
12/14	東京都 在宅療養支援窓口取組推進研修	ファシリ:中辻	WEB
12/21	台東区役所健康課 視察	対応:中辻	あぜりあ歯科

4. 新型コロナウイルス感染症関連事業【窓口別紙】参照

【窓口別紙】 新型コロナウイルス感染症関連事業

地域における自宅療養者等に対する医療支援強化事業 実績報告(R4.9.1- 12.31)

1. 実績報告

①自宅療養者に対する医療支援

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日		
9月	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	
11月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	5	
12月	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1	4	0	0	0	17	

	9月		10月		11月		12月	
	遠隔	往診	遠隔	往診	遠隔	往診	遠隔	往診
事業対象外	0	0	0	0	0	0	0	0
実績数	5	0	2	0	4	1	17	0
日中	4	0	2	0	4	1	15	0
夜間	1	1	0	0	0	0	2	0

②高齢者施設等における医療提供支援

・としま在宅感染対策チーム WEBミーティング

2. 関連会議・打ち合わせ 等

日にち	会議・研修名	会場/開催方法
毎週(金)	TIT:としま在宅感染対策チーム 定期MTG	WEB
9/13	池袋保健所・豊島区看護師会打ち合わせ	WEB
9/27	地区医師会 感染症担当理事連絡会	WEB(6階会議室)
10/21	地区医師会 感染症担当理事連絡会	WEB(6階会議室)
11/22	地区医師会 感染症担当理事連絡会	WEB(4階講堂)
12/27	地区医師会 感染症担当理事連絡会	WEB(4階講堂)

2022年度 豊島区歯科相談窓口 実績報告書

(2022年4月～2023年3月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	新規ケース	30	14	36	21	15	26	31	22	15				210
受付方法	電話	29	13	33	16	13	23	26	19	14				186
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	FAX	0	0	2	0	0	1	0	0	0				3
	来所	1	1	1	5	2	2	5	3	1				21
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
依頼者	本人	6	3	5	7	1	9	9	6	2				48
	家族	13	3	14	9	9	10	13	11	7				89
	医療機関	3	0	4	0	2	2	2	0	1				14
	訪問看護ST	0	0	2	0	0	0	0	0	0				2
	居宅介護支援事業所	8	5	8	3	3	4	6	4	3				44
	高齢者総合相談センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0				1
	行政機関	0	2	0	0	0	0	0	1	1				4
	こども家庭支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
その他	0	1	3	2	0	1	0	0	1				8	
依頼経路	医療機関	6	3	10	3	8	5	8	4	8				55
	訪問看護ST	0	0	3	0	0	0	0	0	0				3
	居宅介護支援事業所	11	5	9	3	3	8	7	5	3				54
	高齢者総合相談センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0				1
	行政機関	1	3	4	3	1	4	7	5	2				30
	在宅医療相談窓口	0	0	0	0	0	1	0	0	0				1
	こども家庭支援センター	3	0	1	1	0	0	1	0	0				6
	パンフレット	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	ホームページ	2	0	1	2	1	3	3	4	0				16
その他	7	3	8	9	2	5	4	4	2				44	
相談内容	在宅歯科	19	9	17	7	7	11	11	11	7				99
	障害者歯科	8	5	17	9	7	12	13	4	6				81
	連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	情報提供	3	0	2	5	1	3	7	7	0				28
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	2				2
相談対応方法	電話	108	58	110	47	37	83	61	63	42				609
	メール	0	0	0	0	0	0	2	0	0				2
	FAX	37	15	34	9	7	20	17	11	11				161
	来所	1	1	1	5	2	3	6	3	2				24
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
転帰・調整先	あぜりあ歯科診療所	23	9	31	13	10	17	18	12	11				144
	病院(歯科口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	病院(医科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	診療所(歯科)	1	1	1	4	0	2	5	6	1				21
	診療所(医科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	訪問看護ST	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	高齢者総合相談センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	その他(情報提供等)	8	5	3	8	3	8	17	10	5				67
コーディネート数	ケース数	18	10	24	10	8	18	21	15	11				135
普及啓発および情報収集(件数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
新聞掲載、広報としま掲載、各団体にパンフレット配布他														
会議・研修等	会議	4	5	2	5	2	5	10	4	4				41
	研修	2	0	1	1	2	0	2	4	1				13
	講演会	1	2	4	0	2	1	0	1	0				11
	その他	1	1	3	1	1	1	1	1	1				11
	合計	8	8	10	7	7	7	13	10	6	0	0	0	76

2023年2月2日

豊島区在宅医療コーディネーター養成講座上級編 実施報告

東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座
水木麻衣子

要旨

豊島区在宅医療コーディネーター養成講座は患者への意思決定支援と関係者の合意形成を積極的に担っていく人の養成を目的としている。基礎編と上級編から構成され、基礎編では意思決定支援の基本や「がん」「臓器不全」「認知症」といった疾患の軌跡の理解と口腔嚥下ケア、服薬管理、ケアの基本的な知識を習得するカリキュラム、上級編は救急、緩和、家庭医療、慢性心不全管理など在宅医療と接点のある医療機能を知るカリキュラムになっている。今年度は上級編を開講した。受講者募集等や会場設営等は区の方が担当し、内容については講師と水木で構築した。受講者はケアマネージャー中心で、熱心に参加しており、感想をみるといずれの回も好評であった。

1. 実施概要

(1) 目的

- ①利用者の意思決定支援にかかわれる
- ②医療者と情報共有や合意形成ができる
- ③その結果、利用者の人生の最終段階を支えることができる

(2) 受講者数

14 名

(3) カリキュラム

	テーマ	内容(達成目標)	講師・アドバイザー
9 / 30	在宅医療における医療コーディネーション	在宅医療で医療コーディネーションが必要な場面をあげて、そこに必要な知識、技術、態度を整理する。	日本医療コーディネーター協会 水木麻衣子
10 / 28	救急医療の仕組みと救急救命医の役割	在宅医療において、救急医療とのかかわりは重要である。救急医療のシステムと医療現場の対応について知る	東京北医療センター 救急科救急救命医 中澤佳穂子先生
11 / 11	慢性疾患をもった方の悩ましい症状への対応	総合診療医の医学的介入の実際を知る。ケアの中で遭遇する「気になる症状」について、どのような考え方をすればいいか学ぶ	町のクリニック目白 家庭医療専門医 重島祐介先生
12 / 22	緩和医療の仕組みと緩和ケア医の役割	在宅医療において、緩和医療とのかかわりは重要である。緩和医療のシステムと医療現場の対応について知る	大森赤十字病院 訪問診療科 茅根 義和先生
1 / 26	よく見かける病名”心不全”を知る	心不全の基本的な理解、必要な治療、慢性期の管理、ターミナル期の状況を知る	池袋大久保医院 循環器内科 山根明子先生

(4) 運営

- ①企画、受講者対応、会場設営：豊島区地域保健課
- ②内容、当日の進行：水木

(5) 受講者の感想

①救急医療について

- ・日常の小さな変化を見逃さず、対策を講じることで救急医療や入院を予防できるかもしれないことがよくわかりました。
- ・救急医療の流れや高齢者の診察時に家族等の助けがあるのとないののでは、診断内容が困難になることがあることを聞き、担当者会議時に、緊急連絡先や持ち物、特にお薬手帳のある場所を確認し、病院に持参してスムーズに対応していただけるよう、こちら側も準備が必要と感じた。後半の病気と緊急性、病気と症状の説明が分かりやすくなるようになりました。
- ・病院でのカンファレンスや訪問看護師との連携の中でよく出てくる言葉や病名の説明が聞けてよかったです。聞いたことはあっても詳細は知らないことばかりだったので、似た病名でも違いを知ることができました。病気を知ることで、利用者さんや家族との話の内容も理解できて寄り添いができると思いました。救急医療につながるまでの日頃の関わり方が生活を支える上で重要だと再認識しました。
- ・普段あまり知ることのできない救急医の先生の役割がよくわかりました。点としてみていたものが線としてつながりました。
- ・なかなか聞けない救急の世界の話がきけて具体的にイメージができてうれしかった。
- ・専門的なお話から全般的なお話まで非常にわかりやすい講義でした。

②家庭医療について

- ・「総合診療専門医」「家庭医療専門医」というのを初めて知りました。ケアマネージャーがかかわる医師は、今後、生物心理社会モデルで対応できる先生がよいのではないかと思った。
- ・総合診療医は高齢者にとって心も助けてくれる。言葉のかけ方一つでも全く違う。生物心理社会モデル、システム理論を初めて知ることができたこと、今後の仕事をする上で役に立つと感じた。
- ・「俯瞰的にとらえる」という言葉が印象的でした。困難事例へのアプローチ方法がわかりやすかったです。
- ・総合診療医とはどのようなものなのか、とてもよくわかりました。特に生物心理社会モデルという言葉を知りました。とても勉強になりました。
- ・「下降期慢性疾患」を担ってくださる総合診療医は「病の意味」「受診理由」も考えてくださり、一緒に安定化への道りを歩んでくださることに感謝したいです。
- ・医療職と介護福祉職との文化の違い等学んでいますが、どちらかといえば、社会的な必要性に関しては医療が変わってくれないといけない面が増えていると思います。

③緩和医療について

- ・緩和ケアのイメージと実際の内容を詳細に説明されておりわかりやすかった。診断後から終末期を通

して患者と家族の QOL 向上にかかわる大切なケアだと思った。

- ・長年緩和ケア病棟でたくさんの患者を看取った講師の講義、熱意から全人的な苦痛、人間理解、EBM と NBM、鎮静、看取りの医療について理解を深めた
- ・とても深い内容でした。知識・単語として理解しても実践に移すのは難しいです。今後の課題となりました。
- ・看取りの時期は、医療職の方が中心のケアとなると思っていたが、ご本人の最期にかかわるチームの一員として看取りの医療を知ることができてよかった。
- ・茅根先生の本日の講義を聞くまでは緩和ケアとは終末期だけを看るものだと思っていました。看取りを実践して、各々の死を理解していくことが必要、何度も何度も関わって初めて体得してゆくものだとわかりました。
- ・人が自然に亡くなる過程を理解することで、家族の支えになれるかもしれないと思いました。

⑤慢性心不全

- ・断片的に知っていたことをきちんと整理して学ぶことができました。難しい病気というイメージがありますが、ステージを理解しておくことは大切と思いました。
- ・高齢者が体調不良になり、主治医から心臓の機能が低下していると説明されたと報告があっても、漠然としていて生活面で何を気を付ければよいか、どのようなサービスが必要なのか悩んでいましたが、連携方法などたくさんのヒントがあり、とても興味深く聞くことができました。
- ・利用者さんからよく聞く話や意見書、診療情報提供書からみかける用語や手術等についてよく理解ができた。手術等についてよく理解ができた。ペースメーカの見本等をみられたことは貴重な経験でした。
- ・医療職との連携のコツがわかりやすかった。
- ・心不全の説明をビデオや模型を利用してわかりやすかった。特に多職種連携の「コツ」は、医師と関わる時お互いにストレスが少なく済みそうなので、活用できそうです。

⑥研修全体について

- ・今回の上級編の研修もとても意義あるものでした。もっと多くの関係者に受けてもらいたい研修です。普段私たちケアマネージャーが受けている研修よりもずっと素晴らしい内容だなと感じる部分がたくさんありました。もっと宣伝するのはいかがでしょう。たくさんの方が受講することにより、介護職も医療職の人たちの質も向上するのではないかと思います。
- ・今回の研修に参加するたびに救われることは、1人で抱え込まないことを説明されると楽になります。この研修では解決できないこともある現実を理解した上での講義内容が現実的で頭に入ってきます。
- ・今後ケアマネジメントを展開する上で大きな自信を得ることができました。
- ・全5回の研修とても分かりやすく勉強になりました。こういった機会があれば参加したい。

4. 今後の課題

①受講者を増やす

特養、老健等施設関係者など新たに開拓していく

②修了者の活躍の場をつくる

修了者をリスト化し、在宅医療相談窓口等と共有。名前の公表。

現在は交流会への参加呼びかけ、養成講座上級編への参加の呼びかけを実施。

今後、定期的なスキルアップの機会、事例検討などの場を作っていけるといいのではないかな。

5. 備考

受講者の受講動機の中にあつた印象に残つた言葉

コロナ禍で、医療の介入が必要な患者の訪問を訪問看護に拒まれ、結局は介護が行くことになることがあつた。コロナ陽性者への訪問の加算が医療にしかつかないし、感染の知識もないのに、行かざるを得ない状況になつたことに、やりきれない思ひがあつた。